

## OTOsuite REPORTS ユーザーガイド

文書No. 7-50-1740-JA/03  
品番 7-50-17400-JA



**otometrics**  
a division of natus

---

**著作権表示**

© 2016, 2017 GN Otometrics A/S. 不許複製。® Otometrics、Otometricsアイコン、AURICAL、MADSEN、ICS、およびHORTMANNはアメリカ合衆国およびその他の国におけるGN Otometrics A/Sの登録商標です。

**バージョンリリース日**

2017年09月27日 (164589)

**技術サポート**

購入元へご連絡ください。

# 目次

1	説明 .....	4
2	用途 .....	4
3	インストラクション .....	5
4	OTOSuite REPORTSを起動する .....	5
5	OTOSuite REPORTSでナビゲートする .....	5
6	レポートテンプレートをデザインする .....	7
7	OTOSuite または OTObase からテスト結果を印刷する .....	13
8	警告の注記 .....	13
9	記号の説明 .....	13
10	その他の参照情報 .....	13
11	製造メーカー .....	14

# 1 説明

OTOSuite REPORTS は OTOSuite/OTObaseからレポートを生成する際に使用するレポートテンプレートを作成するためのソフトウェアツールです。レポートは、被験者データ、テスト結果、および、ユーザー情報を表示するようにセットアップできます。

## 1.1 ソフトウェア統合

OTOSuite REPORTS は次と統合されます：

- OTOSuite  
OTOSuite は聴カテスト結果を実行、表示、報告するためのソフトウェアツールです。
- OTObase  
OTObase は被験者情報を管理して、聴カテスト結果を保管および転送するためのソフトウェアツールです。

OTOSuite とOTObase は Otometricsの製品です。

## 1.2 この取扱説明書の範囲

この取扱説明書では OTOSuite REPORTSの一般機能について説明します。OTOSuiteに関するヘルプについては、OTOSuite ユーザーガイド、OTOSuite リファレンスマニュアル、および、オンラインヘルプのOTOSuiteを参照してください。OTObaseに関するヘルプについては、OTObase ユーザーガイド および OTObase リファレンスマニュアルを参照してください。

## 1.3 書体による表記について

### 警告、注意および注記の使用について

デバイスまたはソフトウェアの安全と適切な使用についての情報を強調するため、マニュアルには次のような警告文を使用しています。

**警告**・ユーザーまたはベビーに対して、死亡や重傷を負う危険性があることを示しています。

**注意**・ユーザーまたはベビーに対して傷害を招く危険性、あるいはデータや装置に対して損傷を招く危険性があることを示しています。

**注記**・ユーザーは特別な注意を払う必要があることを示しています。

# 2 用途

ユーザー： OTOSuite または OTObaseで使用するレポートテンプレートをデザインしたり編集するタスクが割り当てられている担当者。

用途： OTOSuite または OTObaseで使用するレポートテンプレートをデザインしたり編集します。

### 3 インストール

OTOSuite REPORTSのインストール方法についてはOTOSuite インストールガイドを参照してください。

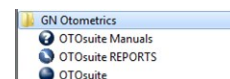
### 4 OTOSuite REPORTSを起動する

OTOSuite REPORTSを起動する:

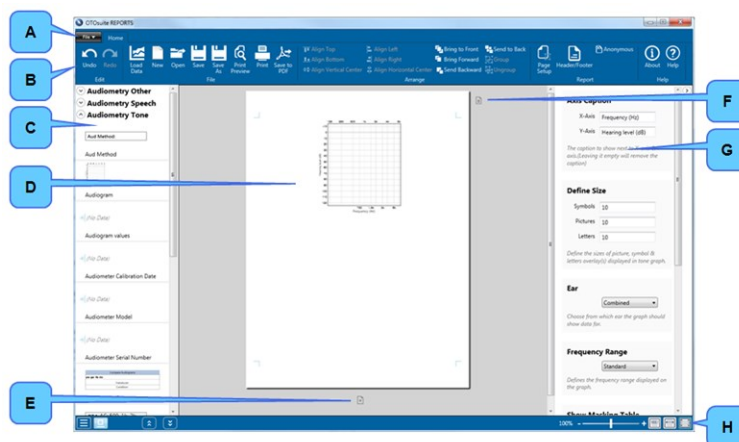
- デスクトップにあるOTOSuite REPORTS アイコンをダブルクリックします。ショートカットを最初に作成しなければならない場合があります。

または


- スタート (Start) > すべてのプログラム (All Programs) > Otometrics > OTOSuite REPORTSを選択します。





### 5 OTOSuite REPORTSでナビゲートする




- A. メニューバー
- B. ツールバー
- C. レポートエレメントペイン
- D. レポートページ
- E. テンプレートで次のページを作成する
- F. ページのコンテンツをクリアする
- G. エレメントフォーマットペイン
- H. 表示のサイズ調整用のスケールバーとアイコン

A. メニューバー	
	<p><b>ファイル (File)</b> をクリックして</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• OTOSuite ファイル管理機能にアクセスします。</li> <li>• 言語を選択します。</li> </ul>

B. ツールバー	
<p>ツールバーはメインセクションの数に分割されています。編集、配置、レイアウト機能は Microsoft Office ソフトウェアで広く使用されている一般機能です。希望する場合は、ツールバーにあるエレメントを右クリックして、リボン内の位置をカスタマイズできます。</p>	
編集 (Edit)	最後の操作を元に戻します/やり直します。
ファイル (File)	<p><b>ファイル (File)</b>メニューからもアクセスできる主要機能:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レポートのデザインを評価するためのデータを読み込む ▶ 8</li> <li>レポートテンプレートをデザインする ▶ 7</li> <li>レポートテンプレートを保存する ▶ 12</li> <li>OTOSuite または OTObase からテスト結果を印刷する ▶ 13</li> <li>レポートテンプレートを PDF に保存する ▶ 12</li> </ul>
アレンジ (Arrange)	レポートエレメントを整列および配置するための機能です。
レポート (Report)	<p>メインページレイアウトをセットアップして、クライアント ID と個人データをレポートに含めるかどうかを定義するための機能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ページセットアップを定義する ▶ 8</li> <li>レポートヘッダーとフッターを定義する ▶ 8</li> <li>匿名レポートを印刷する ▶ 13</li> </ul>
	<p><b>このプログラムについて (About)</b> OTOSuite REPORTS バージョンと製造元詳細を表示します。</p>
	<p><b>ヘルプ (Help)</b> クリックしてヘルプファイルを起動するか、または、キーボード上で F1 を押します。</p>

C. レポートエレメントペイン
<p>レポートエレメントペインで、レポートに含めたいエレメント (セッション、検査担当者、クライアント詳細、および、希望する測定およびテスト結果) を選択できます。<a href="#">レポートテンプレートをデザインする ▶ 7</a>もご覧ください。</p> <p>エレメントによっては大きい領域を占めることがあるので、テンプレートを作成してデータを読み込んだエレメントを配置する方が簡単です。拡張可能なエレメントは、エレメントをどのように拡張するかを示すアイコンで識別できます。アイコンの説明については<a href="#">レポートエレメントをレポートに挿入する ▶ 10</a>を参照してください。</p>

D. レポートページ
<p>レポートページには、作成したいレポートの 1 ページまたは複数ページが表示されます。ここで、レポートのレイアウトを定義して、あなたが選択した順序に従ってレポートエレメントを配置します。</p>

E. テンプレートの次のページを作成する	
	<p>このアイコンをクリックして、テンプレートの次のページを作成します。フロー領域の拡張可能なエレメントは、作成したページの次のページに自動的に拡張します。</p>

#### F. ページ上のコンテンツをクリアする



このアイコンをクリックして、ページのコンテンツをクリアしたり、または、ページ全体を削除します。

- 1 ページのレポートで作業している場合は、ヘッダーとフッターを含むページ全体が削除されます。
- 複数ページのレポートで作業している場合は、表示されているページだけが削除されます。ヘッダーとフッターは削除されません。

#### G. エlementフォーマットペイン

Elementフォーマットペインから、レポートに含めたいElementの形式を選択できます。

[レポートElementをレポートに挿入する](#) ▶ 10をご覧ください。

#### H. ページのサイズを変更する



スケールバーを使用するか、または、これらのアイコンをクリックして、ページの表示サイズを変更します。

## 6 レポートテンプレートをデザインする

既存のレポートテンプレートをコピーして必要に応じてカスタマイズしたり、または、空白のページにレポートElementを追加してテンプレートを作成して、レポートテンプレートをデザインできます。

レポートをデザインする際には次の手順を考慮してください：

#### 新しいレポートテンプレートを作成する

- 新しいレポートテンプレートを作成するには **新規** (New) をクリックします。
- 新しいレポートテンプレートを作成するか、または、既存のレポートを開きます。

#### 既存のレポートテンプレートを開く

OTOSuite と OTObase でプログラムがレポートテンプレートを検索する場所を選択できます。デフォルトでは、工場出荷時に定義されたテンプレートは、`..\Program Files (x86)\GN Otometrics\OTOSuite\Reporting\xx` (xx = 言語) にあります。ユーザー定義のテンプレートは `..\ProgramData\GN Otometrics\Shared\Reports` にあります。

- 既存のレポートテンプレートを開くには、**開く** (Open) をクリックして、開きたいレポートテンプレートを選択します。

#### レポートテンプレートをデザインする

- [レポートのデザインを評価するためのデータを読み込む](#) ▶ 8
- [ページセットアップを定義する](#) ▶ 8
- [レポートヘッダーとフッターを定義する](#) ▶ 8
- [フロー領域を使用する](#) ▶ 9
- [レポートElementをレポートに挿入する](#) ▶ 10

- [PDF ファイルをレポートに挿入する ▶ 11](#)
- [レポートに画像を挿入する ▶ 11](#)
- [レポートテンプレートをプレビューする ▶ 11](#)
- [レポートテンプレートを保存する ▶ 12](#)
- [レポートテンプレートを PDF に保存する ▶ 12](#)

#### レポートテンプレートを他の PC にコピーする

- [レポートテンプレートを OTOSuite または OTObase がインストールされた PC にコピーする ▶ 12](#)

## 6.1 レポートのデザインを評価するためのデータを読み込む

OTOSuite REPORTS にはデモンストレーション目的のためのデータのセットが含まれているので、レポートエレメントをレポートページに配置する際にレポートエレメントのサイズと機能を評価できます。

データを読み込むと、レポートエレメントペインのエレメントが、現在選択されているセッション用のテストデータ(ある場合)と一緒に埋め込まれます。

エレメントによっては大きな領域を占めることがあるので、データを読み込んだエレメントを選択して配置する方が簡単です。拡張可能なエレメントは、エレメントをどのように拡張するかを示す記号で識別できます。[レポートエレメントをレポートに挿入する ▶ 10](#)をご覧ください。

エレメントをドラッグしてページに移動すると、完全に埋め込まれて表示されます。

#### OTOSuite REPORTS Windows から起動

OTOSuite REPORTSを個別に起動すれば、データを手動で読み込むことができます。

1. OTOSuite REPORTSで **データのロード** (Load Data) をクリックします。
2. OTOSuite または OTObase がデフォルトフォルダにインストールされている場合は、データファイルは Windows フォルダ... \Documents\My Suite にあります。

## 6.2 ページセットアップを定義する

ツールバーにある **ページセットアップ** (Page Setup) を選択し、レポートで使用したい用紙サイズとページマージン(余白)を選択します。

**注記**・デフォルトの用紙サイズは A4 です。さまざまなエレメント用に十分なスペースを確保するため、テンプレートのデザインを開始する前に、希望する用紙形式を選択したことを確認してください。

## 6.3 レポートヘッダーとフッターを定義する

#### ヘッダーとフッターをすべてのページに表示する(複数ページからなるレポートの場合)

1. ツールバーにある **ヘッダ/フッタ** (Header/Footer) をクリックしてヘッダーとフッターを有効にします。エレメントをレポートページに配置すると、灰色で表示されます。これは、ヘッダー/フッター領域で作業していることを意味します。
2. ヘッダー領域またはフッター領域に 1 つまたは複数のエレメントを配置すると、エレメントはレポートのすべてのページに表示されます。



**注記**・拡張可能な要素がヘッダ要素と重ならないことを確認してください。ヘッダ要素が余白(マージン)に置かれることを考えて余白を設定します。

### 最初のページのヘッダーとフッターを非表示にする

必要な場合は、レポートの最初のページのヘッダーとフッターを非表示にすることができます。

1. **ページセットアップ** (Page Setup) ダイアログで **最初のページにヘッダ/フッタを表示** (Show header/footer on first page) の選択を無効にします。

## 6.4 フロー領域を使用する

フロー領域はレポートページに配置できる拡張可能な領域です。1つの拡張可能な要素のすべての部分を連続するフローで表示できます。

フロー領域に要素を含めることができない場合は、要素は次のフロー領域に配置されます。

フロー領域内にすべての要素用に十分なスペースがない場合は、1ページまたは複数のページをページ全体のフロー領域と一緒に追加できます。

1. レポート要素ペインにある **ベーシック** (Basic) セクションで **フローエリア** (Flow Area) を選択してレポートページに配置します。
2. 必要な場合はフロー領域を希望する幅に調整します。

### 要素をフロー領域に配置する

1つの要素をフロー領域に配置する場合は、要素の左上隅にあるハンドルがフロー領域内にあることを確認してください。こうすることで、要素がフロー領域に固定されることを確かめます。

### 要素の順序を変更する

フロー領域に表示される要素の順序を変更できます。

- ツールバーにあるアイコンをクリックするか、または、要素を右クリックして、オプション **前に移動** (Bring to Front)、**先に移動** (Bring Forward)、**後ろに送る** (Send to Back)、**後方に送る** (Send Backward) から選択します。

#### 例 1 - フロー領域の動的テーブル

動的要素をフロー領域に配置して、通常の要素を同じフロー領域のその下に配置すると、動的要素のサイズに関わらず、通常の要素は動的要素に従います。

#### 例 2 - 要素の多いテンプレート

オーディオグラム、スピーチテーブル、鼓膜聴力検査一覧など多くの要素を持つテンプレートをデザインしているが、データはその一部しかない場合、1つまたは複数の要素を **内容がある場合のみ表示** (Show only if content is available) として定義して、すべての要素を1つの単一フロー領域に配置できます。

レポートにはデータがある要素だけが表示されます。データのない空の要素は非表示になり、フロー領域はデータを表示している要素に合うように縮小されます。つまり、実行した測定で必要な場合は、レポートを例えば2ページに印刷できます。

#### 例 3 - 複数のフロー領域を使用する

いくつかの要素の位置がテンプレート内で固定されなければならないようにテンプレートをデザインした場合は、2つ以上のフロー領域を作成できます。これらのフロー領域の要素にデータが組み込まれると、スペースのある次のフロー領域に移動します。その際には固定された要素が重なったり移動することはありません。

## 6.5 レポートエレメントをレポートに挿入する

レポートエレメントペインで、レポートに含めたいエレメント(セッション、検査担当者、患者詳細、および、希望する測定およびテスト結果)を選択できます。

1. レポートエレメントペインで、使用したいエレメントのグループをクリックして開きます。
2. ドラッグ・アンド・ドロップ操作で希望するエレメントをレポートページに移動します。
3. 必要な場合はエレメントを希望するサイズに調整します。

### エレメントをフォーマットする

1. 必要な場合はエレメントを右クリックして **形式の要素** (Format Element) を選択します。フォーマットペインで、必要な機能を表示するエレメント(左耳聴力図または右耳聴力図など)をフォーマットできます。
2. フォーマットペインに表示されるフォーマット設定のいくつかには雷光記号が付いています。これは、プリント選択 **OTOSuite設定を使用して印刷** (Print using OTOSuite settings) または **OTObase設定を使用して印刷** (Print using OTObase settings) を有効にして OTOSuite または OTObase から印刷すると、設定が OTOSuite または OTObase 内の同等の設定で上書きされることを意味します。  
新しい形式を維持したい場合は、OTOSuite または OTObase でこの機能の選択を解除します。

### 拡張可能なエレメント

**注記**・拡張可能な要素がヘッダ要素と重ならないことを確認してください。ヘッダ要素が余白(マージン)に置かれることを考えて余白を設定します。

1つのレポートエレメントをレポートテンプレートに配置する際には、エレメントに多数の結果が表示される場合に、エレメントが拡張するかどうかを考慮しなければなりません。これに対応するために、いくつかのレポートエレメントは拡張可能です。これをレポートページに配置すると、OTOSuite REPORTSではエレメントの右上隅の横に小さいアイコンとして表示されます。印刷したレポートにはアイコンは表示されません。

拡張可能なエレメントを示すアイコン	
<input type="checkbox"/>	データがない場合は非表示になります。
<input type="checkbox"/> ☰	必要な場合は行が自動的に追加されます。
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	必要な場合はテーブルが自動的に追加されます。このタイプのエレメントはフロー領域に配置できません。

拡張可能なエレメントを使用する場合は、フロー領域に配置することを推奨します。これによって、その他のエレメントに重なったり、ページの一番下を超えて拡張しないようにします。[フロー領域を使用する ▶ 9](#)をご覧ください。

### コメントフィールド (Comments Field) 要素

コメントの量は被験者により大きく異なります。異なるコメントの量に対応するため、**コメントフィールド** (Comments Field) 要素ではレポートでコメントを2つに分割できます。

コメントの最初の部分は、レポート設計時の**コメントフィールド** (Comments Field)の位置に表示されます。

**コメントフィールド** (Comments Field) の本来の領域にコメントが入らない場合は、**チェックボックス テール要素を表示** (Show Tail Element) をチェックしてください。新しい**コメントフィールド** (Comments Field) 要素がレポートの終わりに自動的に追加されます。この追加フィールドには、コメント全体が

## 6.6 PDF ファイルをレポートに挿入する

1 つまたは複数の PDF ファイルをレポートに挿入できます。

そのためには:

1. **ベーシック** (Basic) エlementグループを開いて **PDF要素** (PDF Element) をドラッグしてページに移動します。
2. 使用したいファイルを検索するように指示されます。
3. ファイルを選択します。

つまり、PDF ファイルはリンクとして挿入されます。OTOSuite Vestibularなどのテストシステムが、最新のレポートで更新する際にこのファイルを上書きするようにセットアップされている場合は、この最新のレポートはこのテンプレートで生成されたレポートに追加されます。

## 6.7 レポートに画像を挿入する

画像を使用してレポートを生成した会社や組織を表すことがあります。選択したグラフィックファイルを使用して、例えば、レポートのヘッダーに画像やロゴを挿入できます。

そのためには:

1. **ベーシック** (Basic) エlementグループを開いて、**画像** (Image) エlementをドラッグしてページに移動します。
2. 使用したいファイルを検索するように指示されます。
3. 画像を選択して希望するサイズに調整します。

### 画像ファイルにリンクする

画像をリンクとして挿入できます。そうすることで、画像ファイルを変更してレポートテンプレートで使用するロゴを変更できます。

1. **ベーシック** (Basic) エlementグループを開いて、**画像** (Image) エlementをドラッグしてページに移動します。
2. 使用したいファイルを検索するように指示されます。  
ブラウザダイアログで、ドロップダウンメニューを使用して **挿入とリンク** (Insert & Link) または **リンク** (Link) を選択します。
3. 既存のデフォルトレポートで使用されているジェネリックグラフィックをもう一度使用したい場合は、ファイルにリンクしなければなりません:

...\Program Files (x86)\GN Otometrics\OTOSuite\Reporting\Misc\Company-Logo-1200x331-px

## 6.8 レポートテンプレートをプレビューする

レポートテンプレートを印刷プレビューとして表示して、レポートデザインが意図通りに表示されることを確認できます。

**注意**・レポートエlementが正しいことを確認します。例えば、左耳の結果を表示するようにフォーマットされたオーディオグラムが正しく機能するかどうかなど。

1. レポートテンプレートをプレビューするには、ツールバーにある **印刷プレビュー** (Print Preview) をクリックします。

2. レポートテンプレート のすべてのページをプレビューして、テンプレートを印刷できます。

## 6.9 レポートテンプレートを保存する

OTOSuite または OTObase のデフォルト 設定が変更された場合は、次のフォルダにあるレポートテンプレートファイルを使用します:

- 工場出荷時定義のテンプレート:  
..\Program Files (x86)\GN Otometrics\OTOSuite\Reporting\xx (xx = 言語)
- ユーザー定義のテンプレート:  
..\ProgramData\GN Otometrics\Shared\Reports

**注記**・ProgramData フォルダは非表示の Windows フォルダです。必要に応じ、Windows コントロールパネル (Control Panel) を開き、**フォルダーオプション (Folder Options)** > **ビュー (View)** を選択し、**高度な設定 (Advanced Settings)** の部分で **隠しファイル、フォルダー、ドライブを表示する (Show hidden files, folders and drives)** を有効にします

### ファイル名にタイトルと説明を追加する

テンプレートに新しい名前を付けて保存する場合は、ファイル名に加えて、タイトルと説明も入力しなければなりません。タイトルは Report Manager (レポート マネージャ) ダイアログなどの OTOsuite と OTObase に表示されるので、タイトルを入力することは重要です。

## 6.10 レポートテンプレートを PDF に保存する



レポートテンプレートを PDF ファイルとして保存したい場合は、ツールバーにある **PDF に保存 (Save to PDF)** アイコンをクリックします。

## 6.11 レポートテンプレートを OTOsuite または OTObase がインストールされた PC にコピーする

レポートテンプレートを OTOsuite または OTObase がインストールされていない PC でデザインした場合は、レポートテンプレートを OTOsuite または OTObase がインストールされている PC にコピーしなければなりません。

デフォルト のインストールではレポートテンプレートは PC の Program Files (プログラムファイル) フォルダにあります。

OTOSuite または OTObase がデフォルト フォルダにインストールされている場合は、レポートテンプレートは次のように保存します:

- 工場出荷時定義のテンプレートは ..\Program Files (x86)\GN Otometrics\OTOSuite\Reporting\xx (xx = 言語) にあります
- ユーザー定義のテンプレートは ..\ProgramData\GN Otometrics\Shared\Reports にあります

**注記**・ProgramData フォルダは非表示の Windows フォルダです。必要に応じ、Windows コントロールパネル (Control Panel) を開き、**フォルダーオプション (Folder Options)** > **ビュー (View)** を選択し、**高度な設定 (Advanced Settings)** の部分で **隠しファイル、フォルダー、ドライブを表示する (Show hidden files, folders and drives)** を有効にします

## 7 OTOsuite または OTObase からテスト結果を印刷する

結果をレポートとして OTOsuite または OTObase から印刷できます。

**注記**・OTOsuite または OTObase から直接レポートを印刷します。OTOsuite レポートは Noah 印刷機能では使用できません。

OTOsuite の定義済みのいくつかのレポートの中から選択することができます。

レポートは特定の患者に関する現在使用可能なデータと複数のセッションからのデータを表示します。

一部のレポートは、異なるモジュールの測定結果を組み合わせて表示します。

最も標準的な作成レポートには次が適用されます: レポートが以前の日付で行われた測定のデータを表示している場合は、測定名の隣に測定が行われた日付が表示されます。

### 7.1 匿名レポートを印刷する



患者名や個人データのない測定結果だけを表示するレポートを印刷したい場合は **匿名** (Anonymous) アイコンをクリックします。

## 8 警告の注記

本ガイドには、OTOsuite を安全に使用するために守るべき情報や警告が記載されています。該当する地方自治体の条例や規制を常に守る必要があります。

OTOsuite をテストデバイスと併用する場合は、テストデバイスの取扱説明書に記載される全ての情報、警告に従っていることを確認してください。

## 9 記号の説明



ソフトウェアプログラムが正常に動作しない場合にエラーメッセージダイアログで使用されます。ダイアログボックス内の詳細情報をご覧ください。

## 10 その他の参照情報


詳細情報については OTOsuite にあるオンラインヘルプを参照してください。このヘルプには OTOsuite および OTOsuite と併用できるテストデバイスについての詳しい参考情報が含まれています。

OTOSuiteのインストール後、OTOSuite取扱説明書や関連する資料はPCの中にあります。**スタート**(Start)メニューで、**OTOSuite Manuals**を開きます。すべての取扱説明書へのリンクがある概要が含まれています。

## 11 製造メーカー

GN Otometrics A/S  
Hoerskaetten 9, 2630 Taastrup  
デンマーク  
☎ +45 45 75 55 55  
☎ +45 45 75 55 59  
www.otometrics.com

### 製造販売元

ジーエヌリサウンドジャパン株式会社  
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6-3  
MM/パークビル8F  
☎ 0120-921-310   
☎ 0120-636-392  
認証番号 第228AABZX00043000号

### 11.1 製造者責任

製造メーカーは、以下の場合にのみ、機器の安全、信頼性、および性能への影響に関して責任を負うものとします。

- 全てのアセンブリの動作、拡張、再調整、修正あるいは修理は、製造メーカーによって認可されている機器メーカーもしくは担当者によって実施されている。
- 機器が接続されている電気設備は、EN/IEC要件に準拠している。
- 機器は、取り扱い説明に従って使用されている。

製造メーカーは、他の企業や団体によって点検または修理された機器の動作の安全性、信頼性および性能に関する全ての責任を放棄する権利を保有しています。